

## 21 木製カヌーをみんなで作ろう！ 3月6日（日）

鈴鹿川たんけんクラブでは、今年の桜まつりこそ宝の小川に舟を浮かべて、舟から花見をしたいものだと考えました。川幅が2mしかないことを考え、木製カヌーを作ることを思い立ち、さらにどうせ作るのなら子どもたちも一緒になって作りたいものだと計画しました。

3月6日（日）、13日（日）午後1時半から2時間をかけて作ろうと子どもたちに参加を呼びかけたところ、中学生二人、小学生一人が集まってくれました。

楠交流会館創作作業室をお借りして、製作を開始しました。その様子をご覧ください。

ボクもオレもやってみたいと思う子どもは、13日に駆けつけてくださいね。歓迎です！

カヌー作りが集まった中学生二人、小学生一人とたんけんクラブ員四人の顔合わせ後、早速カヌー作りにかかった。クラブ員もう一人は、楠まちコミ掲載のため写真撮影中。みんなが知っている熱い方ですよ。



カヌー作りは、まず底板づくりから。底板と補強角木を固定するため、接着剤を塗り万力で固定、次に電気ドリルで下穴を明け、ついで電気ドリルで木ねじを締めて固定する。子ども達は要領よく作業を進めてくれた。

下穴加工、木ねじ締めピッチは、およそ10cm間隔でマーキングして行った。中学生二人は兄弟のため、作業を分担して要領よくやってくれた。小学生はたんけんクラブ員の見守りと補助のもと一人で頑張ってくれた。



底板の補強が完成すると、次は前部、後部の波切りの45度を形作る部材の取り付けだ。これはちょっと難儀した。



小学生の底板取り付けも完成した。思わず笑みがこぼれた。次は前部、後部の波切45度部材の取り付けだ。



波切45度部材の納まりが悪いため、寸法を確認する中学生二人。すっかり職人の顔になってるぞ。



小学生も負けずに波切45度部材の取り付けだ。  
一方中学生はカヌーの側板の加工のため寸法どりをやっている。前部、後部の45度の角度を鋸で付けるのだ。少し遅れて小学生も鋸切断を頑張った。やればできるのだ。  
次回、3月13日(日)で完成だ！

